

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立北区大淀老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合
数値目標	85.2%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和元年度～令和3年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市北区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	85.2%
年度実績	86.2%
達成率	101.2%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	20,213	17,170	3,043

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	17,915,000	18,811,000	100,000	-
	計画	17,815,000	18,811,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	-
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	47,900	60,410	12,900	-
	計画	35,000	300,000		
合計	実績	17,962,900	18,871,410	112,900	-
	計画	17,850,000	19,111,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	13,249,052	13,251,530	-850,948	-
	計画	14,100,000	14,100,000		
物件費	実績	4,148,161	4,165,431	398,161	建物や設備の老朽化に伴う、 維持管理費の増
	計画	3,750,000	5,011,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	0	0	0	-
	計画	0	0		
合計	実績	17,397,213	17,416,961	-452,787	-
	計画	17,850,000	19,111,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	101.2%	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を概ね達成している。

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・LED化及び再生紙利用並びに両面印刷の実施・裏面再利用。 ・比較見積調達による経費節減。	B	施設の老朽化による維持管理コストの増加があったが、両面印刷やLED化などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・自衛消防訓練を複数回（1回は消防署立ち合い）実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、アルコール消毒や手洗いなどの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・健康や食育に関する健康関連事業では、多様な講座を開催でき、当センター独特の薬膳講座は利用者からも高い満足度を得るなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・専門学校実習生の受入を行うとともに北区大淀地域包括支援センターなどの地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規定などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、再生紙や裏面利用、ペットボトルキャップの回収など実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

(1) 調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2) 回答者152人（未記入者含む）
(3) 質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
(4) 結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が86.2%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.昨年の指摘事項を反映し、事業報告書のPDCAの書き方が分かりやすくなっている点が評価できる。
2.男性の利用者を拡大するために、男性限定の取り組みを行っている点は評価できる。
3.センター利用者がアシスタントやボランティアとして、企画や運営に主体的に取り組んでもらえるような仕掛けづくりを検討していただきたい。
4.スマホ講座をマンツーマン指導で取り組んでいるのは評価できるが、今後、利用者がボランティアでリーダーとなって取り組む等、リーダー育成につなげていただきたい。
5.アウトリーチの取り組みや、老人クラブとの役割分担を検討していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	アンケートで要望のあった案件について随時対応を行っており、市の目標を上回る結果となった。
市費の縮減	B	和式トイレの洋式化や量の入れ替えで予算を上回る出費となったが、改善することで利用者の利便もよくなるが見込まれるため、一時的な増は致し方ない。
管理運営の履行状況	B+	利用者が増えているので、今後もセンターの周知を行って欲しい。利用者の要望に応え、職員が樹木の剪定を行うなど費用の削減も行っている。子ども子育てプラザとの交流や大学生によるスマホ教室、中学校吹奏楽部の演奏会など多世代の交流を行っており、今後も続けていただきたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する運営を行った。